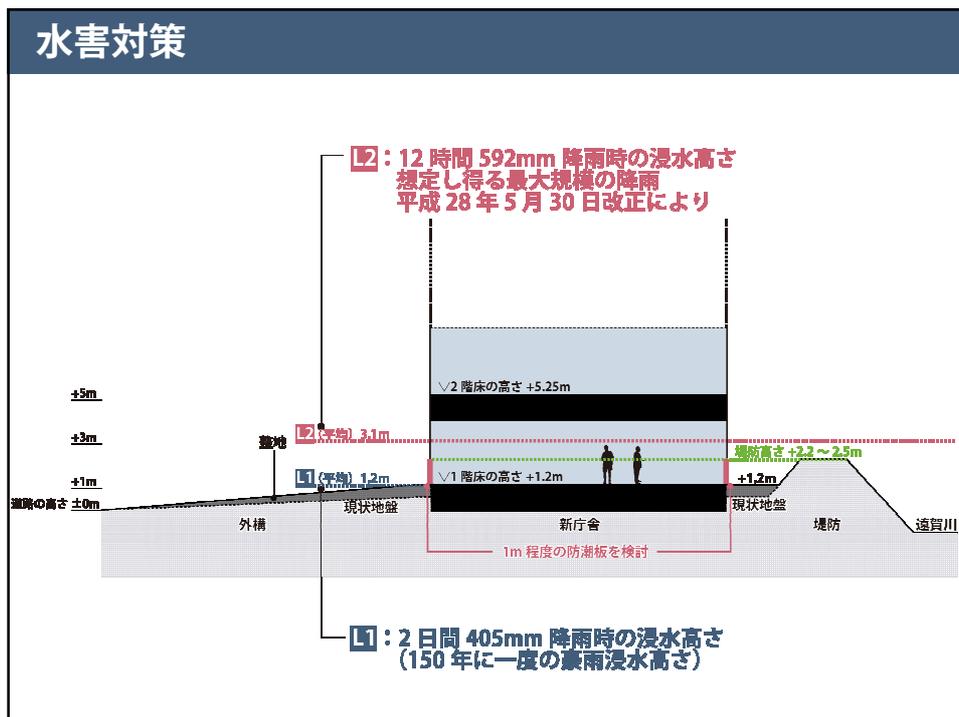


| 水害対策 | | ◎ 最も望ましい ○ 望ましい △ 標準的 | | |
|---------|--|-----------------------|---|---|
| | A案：1階窓口 | B案：1階ピロティ（駐車場） | | |
| 断面構成 | | | | |
| ①床高の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道から緩やかな勾配をとり、1階レベルを1m程度上げる。 ・ 建物周囲に大型側溝、排水ピット等を設置。 ・ 防潮板設置検討。 ・ 周囲に花壇等を設け、流木被害を防ぐ。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口を2階に配置。 | ◎ |
| ②防災機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気室、防災備蓄倉庫等は2階以上に配置し、庁舎機能を維持。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気室、防災備蓄倉庫等は2階以上に配置し、庁舎機能を維持。 | ○ |
| ③利用しやすさ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部からバリアフリーでアクセス利用しやすい | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部から階段、EV等によるアクセス利用しにくい | △ |
| ④建設費 | <p>コスト指数 100 事業費 40 億円</p> | ○ | <p>コスト指数 105 事業費 42 億円</p> <p>・ 庁舎本体の階数が1階増えるため、構造躯体費が増える。 ・ 外装面積、内装仕上面積が増える。</p> | △ |

| 水害対策 | | ◎ 最も望ましい ○ 望ましい △ 標準的 | |
|---------|--|-----------------------|--|
| | A案：1階窓口 | | |
| 断面構成 | | | |
| ①床高の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道から緩やかな勾配をとり、1階レベルを1m程度上げる。 ・ 建物周囲に大型側溝、排水ピット等を設置。 ・ 防潮板設置検討。 ・ 周囲に花壇等を設け、流木被害を防ぐ。 | ○ | <p>150年に1度の水害時に1階が浸水した場合でも、庁舎防災機能は維持可能な計画とします。</p> <p>日常の使いやすさを最優先に考えた市民に優しいバリアフリーな庁舎とします。</p> |
| ②防災機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気室、防災備蓄倉庫等は2階以上に配置し、庁舎機能を維持。 | ○ | |
| ③利用しやすさ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部からバリアフリーでアクセス利用しやすい | ◎ | |
| ④建設費 | <p>コスト指数 100 事業費 40 億円</p> | ○ | |



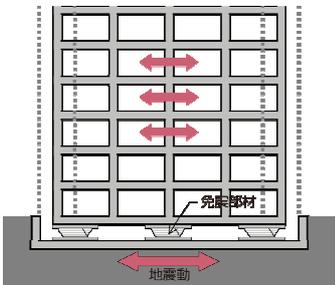
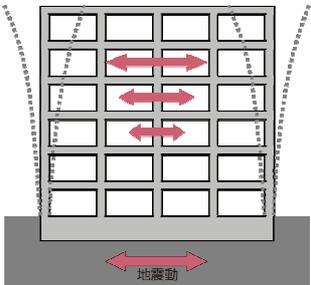
地震対策

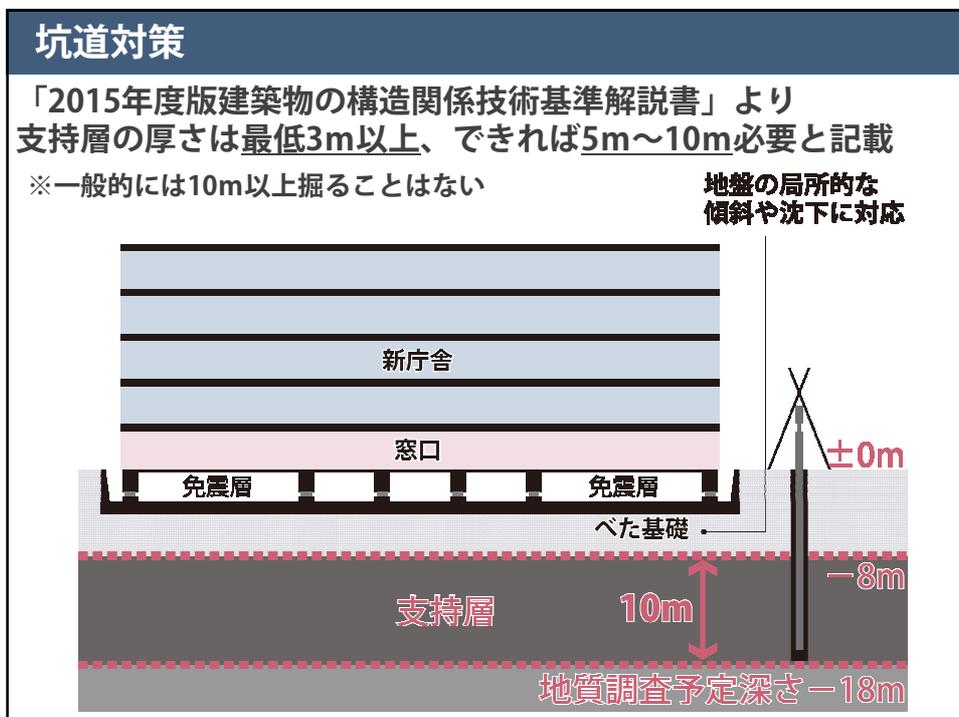
地震はいつ何処で発生するかは
想定が困難であるため、答申を尊重し、
より耐震性のある施設を計画していくものとする。

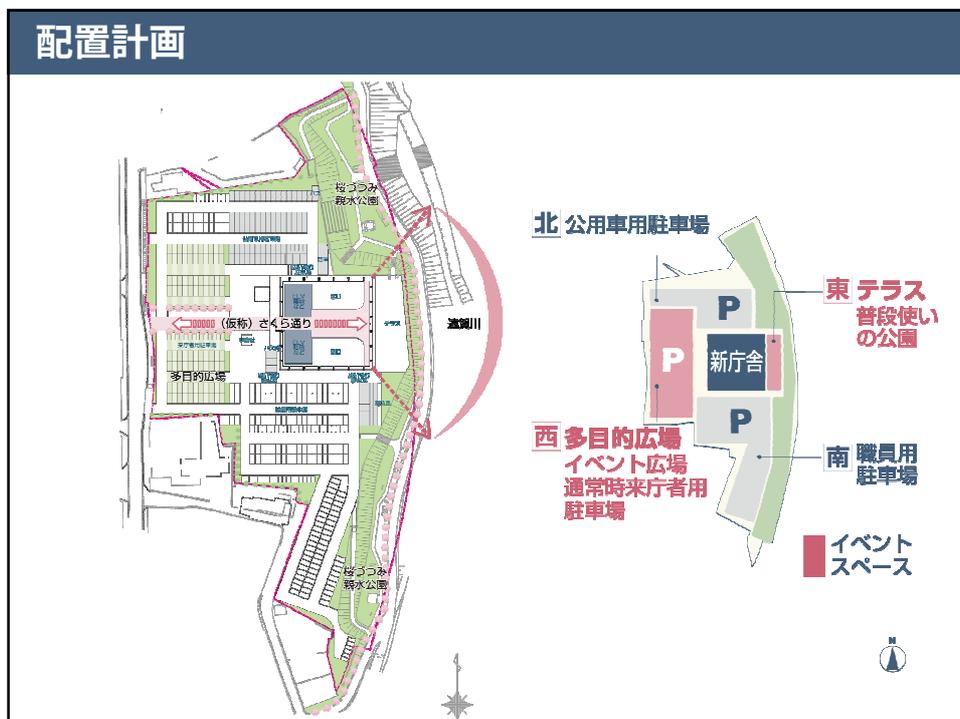
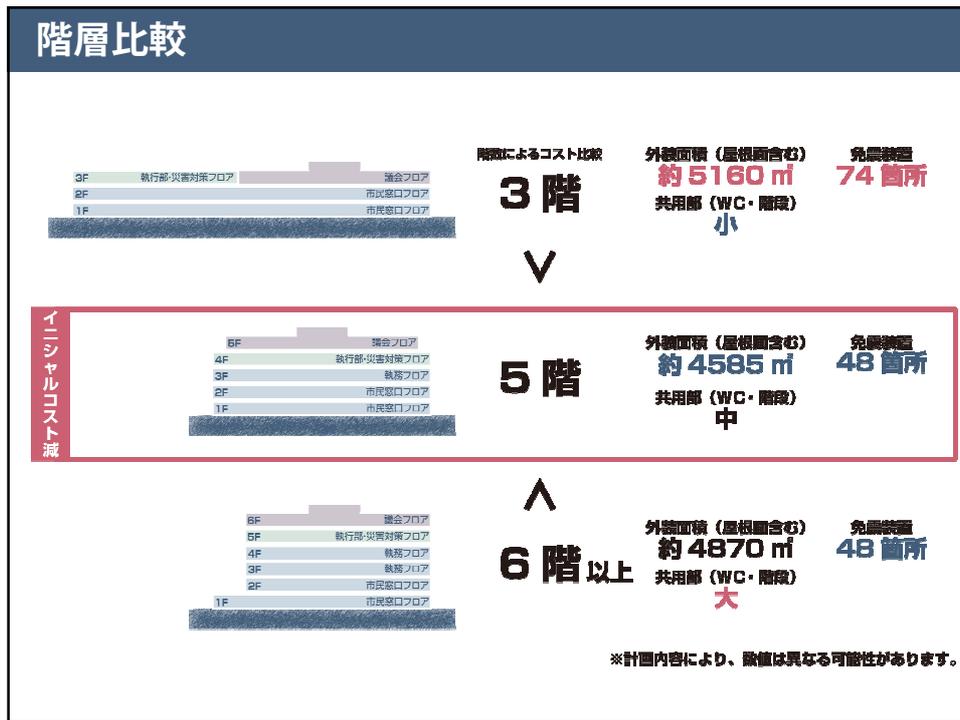
↓

免震構造

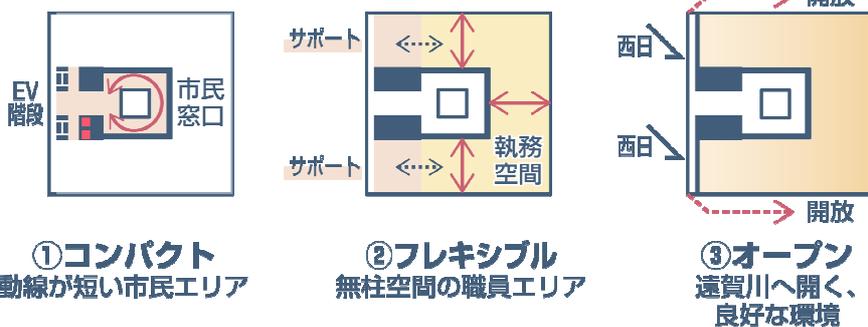
例／山鹿市庁舎
熊本地震（震度5強）による、建物（外装・内装とも）
被害は一切ありません

| 地震対策 | | |
|------|---|--|
| | 免震構造 | 耐震構造 |
| 概念図 |  <p>ゆっくり平行に揺れる</p> |  <p>激しく揺れ、上部ほど大きく揺れる</p> |
| 性能 | <p>大地震時、人命の安全確保に加えて、構造体の補修をすることなく完全機能確保を図る</p> | <p>大地震時、人命の安全確保を図ることはできるが、構造体の部分的な損傷は生ずる</p> |

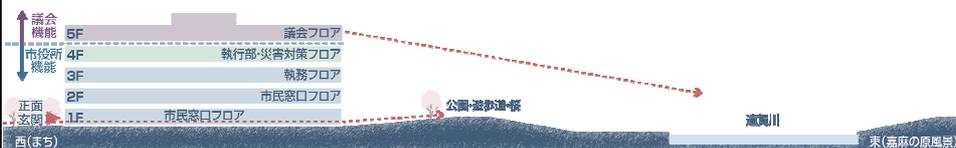




平面計画の考え方



断面計画の考え方



1-3F: 市民窓口フロア
 4F: 執行部・災害対策フロア
 5F: 議会フロア